

全国月間火山概況

霧島山（新燃岳）では、16日に噴火予報を発表して噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げました。その後、5月6日に火山性地震が増加したことから、火口周辺警報を発表して噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。

2009年6月下旬以降活発化した桜島の噴火活動は、同年10月頃から更に活発となっており、昭和火口では、噴火の多い状態が続いています。地殻変動観測では、2010年初め頃から桜島島内で伸びが観測されています。桜島では、火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続しています。

三宅島では、10日と11日にごく小規模な噴火が発生しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

諏訪之瀬島では、噴火が断続的に発生しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

浅間山では、地殻変動、噴煙量および火山ガスの放出量が、ともに2008年8月の噴火以前の状態に戻りつつあり、15日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げました。

5月11日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表1のとおりです。

表 1 5月11日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3 （入山規制）	桜島
	レベル2 （火口周辺規制）	三宅島、霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福德岡ノ場
噴火予報	レベル1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、口永良部島
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孺婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）



図1 噴火警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

吾妻山[噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

5月4日07時23分に継続時間約32分の火山性微動を観測しました。火山性微動を観測したのは2010年1月29日以来です。

5月6日に現地調査を実施した結果、大穴火口のW-6噴気孔の周辺で硫黄が燃焼し、青白い煙が上がっているのを確認しました。また、硫黄が燃焼している個所が夜間には、赤又は白く光って見えるのを確認しました。

大穴火口の噴気活動はやや高まった状態が続いています。火山性地震は2009年10月以降、やや多い状態で推移しています。

4月15日～20日にかけて、大穴火口付近で実施したGPS繰り返し観測では、前回(2009年10月29日～11月2日)の観測結果以降、大穴火口を挟む基線で伸びを示す変化が観測されました。広域のGPS連続観測では、大穴火口を挟む基線で2009年末から伸びを示す変化が観測されていましたが、4月に入って伸びを示す変化は鈍化し、ほとんど変化はありません。

吾妻山では火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられませんが、引き続き、火口内では噴気、火山ガスの噴出等がみられますので、警戒が必要です。

草津白根山[噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

湯釜火口周辺を震源とするとみられる振幅の小さな火山性地震の一時的な増加が繰り返し発生しました。地殻変動には特段の変化はみられませんでした。湯釜火口内の北壁などでは引き続き熱活動の高まりがみられています。

山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られます。周辺の窪地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留する事がありますので、注意が必要です。

浅間山[噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)] ←4月15日に噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から引下げ

浅間山では、2009年5月27日以降噴火は発生していません。火山性地震はやや多い状態が続っていますが、2009年2月2日の噴火前にみられた周期の短い地震の増加は認められません。山頂火口からの火山ガス(二酸化硫黄)の放出量も最近は減少しています。山体周辺のGPS連続観測では、深

部へのマグマの注入を示す伸びの傾向が鈍化し、最近はずかしく縮みの傾向がみられます。

これらのことから、浅間山では山頂火口から 500m を超える範囲に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、15 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引き下げました。

ただし、山頂火口から概ね 500m 以内に影響する程度の噴出現象は突発的に発生する可能性がありますので、火山灰噴出や火山ガス等に警戒が必要です。

三宅島 【火口周辺警報(噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)】

10 日 21 時 24 分頃、振幅のやや大きなやや低周波地震が発生しました。地震発生時の噴煙の状況は雲のため不明でしたが、同日夜間に行った現地調査では、三宅島の北側の山麓（山頂火口から約 3 km）で微量の降灰を確認したことから、地震発生に伴いごく小規模な噴火が発生したと推定されます。11 日 08 時 40 分頃、山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、黒灰色の噴煙が火口縁上 500m まで上がり、東へ流れるのを確認しました。同日午前に行った現地調査では、島の東側の山麓（山頂火口から約 3 km）でこの噴火に伴う微量の降灰を観測しました。また、この噴火により、空振を伴う振幅のやや大きなやや低周波地震を観測しました。三宅島で噴火が発生したのは 2009 年 11 月 15 日のごく小規模な噴火以来です。

山頂火口からの噴煙高度は火口縁上 100～300m で推移しました。

30 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量は一日あたり 1000～1,500 トン（前回 3 月 18 日、900～2,000 トン）で、依然として多量の火山ガス放出が続いています。

三宅村によると、山麓では時々高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

地磁気連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はありませんでした。

GPS 連続観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動が継続しています。

三宅島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。降雨時には土石流にも注意が必要です。

硫黄島 【火口周辺警報(火口周辺危険)】

独立行政法人防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過しています。国土地理院の観測によると、2006 年 8 月以降みられている島全体の隆起を示す地殻変動は、現在は停滞しています。島内南北方向の伸びの傾向が継続していましたが、最近はやや鈍化しています。

硫黄島では引き続き火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に対する警戒が必要です。

福德岡ノ場 【噴火警報(周辺海域警戒) 及び火山現象に関する海上警報】

14 日に海上自衛隊が上空から行った観測によると、福德岡ノ場付近で、複数の湧出点から南西方へ長さ約 2700m、幅約 360m に広がる、青白色、乳白色、薄緑色の変色水及び浮遊物らしきものが確認されました。また、26 日に第三管区海上保安本部が上空から行った観測によると、福德岡ノ場付近で、複数の湧出点から西方へ扇状に広がる、青白色、乳白色、薄乳白色の変色水が確認されましたが、浮遊物等は確認されませんでした。

福德岡ノ場ではしばしば変色水や浮遊物が観測されており、2010 年 2 月 3 日には小規模な海底噴火が発生しています。

福德岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

霧島山（新燃岳）[火口周辺警報(噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]←4 月 16 日に噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引下げ、5 月 6 日に噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引上げ

3 月 30 日のごく小規模な噴火の発生後、噴煙活動は低調に経過し、火山性地震は 4 月 7 日以降少ない状態で経過しました。また、火山性微動は 3 月 31 日以降発生していません。これらのことから火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、16 日に噴火予報を発表して噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引き下げました。

17 日 01 時 15 分頃、ごく小規模な噴火が発生し、火口内の南から南西側にかけてわずかに灰色に変色していました。

5 月 6 日（期間外）07 時頃から火山性地震が増加し、火山活動が高まりました。このため、火口周

辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある」と判断し、同日 6 日 14 時 00 分に火口周辺警報を発表して噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げました。

新燃岳では、火口から概ね 1 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

桜島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）】

昭和火口では、噴火の多い状態が続いています。噴火が 105 回発生し、そのうち爆発的噴火は 100 回でした。これらの噴火に伴い大きな噴石が 3 合目（昭和火口から 1,300～1,800m）まで達しました。

火砕流は、観測されていません。

また、同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を時々観測しました。

南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。

23 日、27 日及び 30 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり 1,100～1,400 トン（2010 年 3 月：1,300～2,000 トン）とやや多い状態で推移しました。

GPS 連続観測では、2010 年初め頃から桜島島内で伸びが観測されています。

2009 年 6 月下旬以降活発化した桜島の噴火活動は、同年 10 月頃から更に活発となっています。今後、更に火山活動が活発化する可能性が高いと考えられますので、火山活動の推移に注意する必要があります。

昭和火口及び南岳山頂火口から 2 km 程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、降雨時には土石流に注意が必要です。

薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

火山性地震はやや多い状態が続いています。

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上概ね 100m で推移しました。

4 月 28 日に実施した機動調査観測では、前回（2008 年 4 月 21 日）と比べて硫黄岳の熱異常域の分布に特段の変化はありませんでした。

薩摩硫黄島では、硫黄岳山頂火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

御岳火口では、噴火が断続的に発生しました。爆発的噴火の発生回数は 2 回（3 月：1 回）でした。

諏訪之瀬島では長期的にわたり噴火活動を繰り返しています。

諏訪之瀬島では、御岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

（火山の順は活火山総覧（第 3 版）による）

資料１ 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成 22 年 5 月 11 日現在）

（１）主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 9 月 29 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 10 月 17 日 噴火予報（平常） 2008 年 11 月 17 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 12 月 16 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 12 月 16 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 6 月 9 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	恵 山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 10 月 27 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）切替
	浅間山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008 年 8 月 8 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 4 月 7 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010 年 4 月 15 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	新渥焼山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	白 山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	三宅島	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 3 月 31 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007 年 12 月 1 日 噴火警報（周辺海域警戒）

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	霧島山 （新燃岳）	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル１、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル１、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	桜 島	火口周辺警報 （レベル３、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	口永良部島	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル１、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル１、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。
この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

（２）その他の活火山

以下の活火山では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカシタナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、婿婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山